

事業所職員向け

放課後等デイサービス

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ
環境 ・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%	0%	0%
	2	職員の配置数は適切であるか	100%	0%	0%
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	100%	0%	0%
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	60%	40%	0%
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	60%	40%	0%
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100%	0%	0%
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	80%	20%	0%
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%	0%	0%
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%	0%	0%
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	100%	0%	0%
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	80%	20%	0%

適切な	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	80%	20%	0%
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	80%	20%	0%

支 援 の 提 供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%	0%	0%
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%	0%	0%
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100%	0%	0%
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%	0%	0%
	18	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	80%	20%	0%
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	100%	0%	0%
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	20	相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100%	0%	0%
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	100%	0%	0%
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	100%	0%	0%
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	80%	20%	0%
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	100%	0%	0%
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	80%	20%	0%

27	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	100%	0%	0%
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%	0%	0%
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	60%	40%	0%

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%	0%	0%
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%	0%	0%
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	100%	0%	0%
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%	0%	0%
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%	0%	0%
	35	個人情報に十分注意しているか	100%	0%	0%
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%	0%	0%
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	100%	0%	0%
非常時等	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	60%	40%	0%
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	60%	40%	0%
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%	0%	0%

守 の 対 応	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	100%	0%	0%
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	80%	20%	0%
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%	0%	0%

自己評価表

工夫している点、課題や改善すべき点など	今後の対応等について
<p>基準以上のスペースを確保しています。園庭もあるので、広々と遊ぶことができます。</p>	<p>児童や保護者が安心して利用できるよう、随時環境の見直しを行なっています。</p>
<p>トラブルが起きた時に対応がすぐできる程、職員の配置に余裕が持っています</p>	
<p>段差がなく、車椅子専用のトイレや点字ブロック等の設置もされています</p>	
<p>毎日、朝礼と終礼をして支援の振り返りをしています</p>	<p>日々の終礼などで反省に上がった点については共通理解をして次の支援に向けた対応方法を決めて取り組んでいます。しかし決めた取り組みについて、評価をしっかりと行えていない時もあるので、期限を決めて支援についての評価も行なっていけるよう取り組んでいます。</p>
<p>アンケートを実施して業務改善に繋げています。今年度から成長の様子を伝える連絡ノートの取り組みをはじめています。</p>	
<p>ホームページと事業所内の掲示板に掲示しています</p>	
<p>外部からの実習や研修、視察等を積極的に受け入れ、感想をいただいています。</p>	
<p>外部研修や内部研修を実施して研修参加の機会を作っています</p>	
<p>普段からの情報交換を通して得た様子をもとに計画の作成を行っています。</p>	
<p>児童用に作成したアセスメントシートを使っています</p>	<p>話し合いを通して子ども達が提案する遊びを行なっています。その取り組みを通じて友達同士で遊ぶ力が着実に育っていています。現在は、次回の遊びについて話し合いを行なっていますが、今年度からは年間の目標を持ちながら長期的に取り組んでいく活動を行なっていくようにしていきます。</p>
<p>今年度は、毎日の活動計画だけでなく年間計画をしっかり立てた活動プログラムにも取り組んでいます。</p>	<p>個々に様々な才能を持っているので、得意分野を伸ばしていけるよう、個別に取り組める時間をこれまで以上に確保していきます。</p>

固定化しているものもありますが、子どもたちのアイデアを取り入れ、話し合いをもとにプログラムを設定していると思います。
保護者や家庭のニーズに可能な限り対応しています。
スポーツが得意な子、工作が得意な子など個々の才能に合わせた個別・集団での支援を行っています。
1日の中で支援の打ち合わせを行う時間を確保しています。緊急の課題がある場合には必ずその日のうちに対応を検討しています。
支援の振り返りの時間を設けていますが、日によっては十分に時間が確保できていない時があるので、タイムスケジュールを見直して改善を行なっていきます。
毎日、利用した時の様子や対応など支援を行なった内容について記録し保管をしています。
相談員と連携しながら、定期的な面談機会を作っています
ガイドラインの周知が不十分な面があったので、再度周知を徹底していきます。
児童発達支援管理責任者と対応している職員が参加をしています。
送迎時に様子の確認を行ったり、会議に参加したりして情報交換を行っています
現在、対象となる児童がいないため未評価
児童発達支援から引き継ぎ、関係機関との情報交換を行いながら支援を行っています
まだ移行をした児童はいませんが、今後地域の児童クラブ等への移行が中心になってくるので、連携を深めていきます。

特に学年が上がるにつれて才能支援に力を注いでいく予定です。
振り返りの時間が確保できない時があることについては、必ず決められた時間に行うように業務の流れを見直していきます。
地域の関係機関との連携が増えています。学校で開かれる支援会議の出席や訪問支援の実施回数の増加など、年々地域との連携・協働体制が構築されています。また必要に応じて教育委員会とも連携した支援を行なっています。
他の福祉施設へ移行した例はありませんが、主に今後移行先として多くなるのが地域の児童クラブ等になります。地域児童クラブとの連絡や情報交換も多くなってきています。今後、安心して地域への移行ができるように、学校だけでなく地域の児童クラブとの連携も深めていきます。

<p>発達障がい者支援専門員のスーパーバイズを定期的に受けています</p>	<p>保護者の皆様へのサポートして今後、ペアレントプログラムの周知を行なっていくようにしていきます。</p>
<p>今年度は地域の児童クラブに出向いてボルダリングの体験をさせてもらう等、交流の機会を作ることができました。</p>	
<p>自立支援協議会に参加しています</p>	
<p>送迎時や必要に応じて電話連絡などで情報交換を行っています。今年度から連絡ノートも始めています</p>	
<p>就学児の保護者を対象とした保護者支援の対応が不十分な面がある</p>	
<p>利用開始前に説明を行っています</p>	<p>面談時に過ごしている様子を動画で撮影したものをみてもらうようにしています。しかし動画の準備ができていなかったことがあったので、面談時にはお見せできるように準備を進めていきます。</p>
<p>送迎時にお会いした時や電話連絡、面談等を通じて子育ての相談等に対応しています</p>	
<p>行事の際には保護者連絡会を開催しています</p>	<p>保護者連絡会を行事の際に行なっています。その際に最近の情報交換を行うようにしていますが、情報が行き届いていないことや、連絡会に参加されなかった保護者への周知が十分ではなかったため、書面での周知も再度徹底していきます。</p>
<p>苦情や申し入れがあった際にはすぐに上司に報告し適切な対応がとれる体制を整えています</p>	
<p>なかよしクラブだよりを年4回発行しています</p>	
<p>事務室の施錠を徹底し、また配布物があるときは二重のチェック体制をとっています</p>	
<p>書面での案内や、iPadを活用した情報の伝達を行っています</p>	

<p>地域交流祭を開催し、その会場の一つとなっています</p>	
<p>保護者連絡会などを通じて周知をしていますが、今年度は十分に周知する機会ができなかったため、来年度再度周知を促していきます。</p>	<p>緊急時の対応については、まだ全員の保護者への周知が徹底できていなかった部分がありますので、次年度も保護者連絡会や書面を通じて周知を行なっていきます。</p>
<p>年に1回消防署に来ていただき、総合避難訓練を実施しています。また児童発達支援の部とも連携した訓練の実施を行っています。</p>	
<p>虐待防止研修に参加したり、チェックシートを活用し虐待防止に努めています</p>	
<p>計画書に記載し同意を得ていますが、原則身体拘束を伴うような支援は一切行なっておりません。</p>	
<p>食物アレルギーがある場合には指示書の提出をお願いしています</p>	
<p>ヒヤリハット報告書を作成し、全職員に周知するようにしています。</p>	

